

高田 本山 だより

平成最後のお七夜さん・報恩講にお参りしましょう
お七夜さんは平成三十一年一月九日から十六日です



こんな行事がありました

九月一日

国立劇場声明講演

二度目となる国立劇場
声明講演でホールいつぱ
いに、高田の声明が響き
渡りました。

(リハーサル風景写真前頁)

十月六日

国宝一周年記念

インドの舞踊団などを
迎えて、記念イベントが
行われました。また、特
別に境内にもマルシェな
どの出店もあり賑わって
いました。(写真左)



十月十八日 法話発表会



若手僧侶の法話体験の
場として開催されていま
す。聴衆のおかげで、よ
い法話となつていく機会
となりました。(写真右)

十月二十五日

檀信徒研修会

今回の研修会では佐波
真教師に、高田第三世の
顕智上人が、親鸞聖人の
臨終に立ち会われ、火
葬、収骨を取り仕切られ
たこと。さらに親鸞聖人



十一月三日・四日

納骨堂法会

お天気にも恵まれ両日
とも大勢の方にご参詣い
ただきました。(写真左)

汗を流して清掃奉仕

ご奉仕ありがとうございます。
(敬称略・奉仕日順)

九月 延命寺・浄誓寺・

圓光寺・南昌寺

十月 光澤寺・潮音寺・

教圓寺・積善寺・深正寺

十一月 野洲市赤十字・

ふれあい長寿会・第一

寿会・善徳寺・心覚寺・

報恩寺・彰見寺・上宮寺・

善休寺

本山の清掃奉仕で汗を
流しませんか。ひとりひ
とりの力が合わさり山内
が護持されています。お
申し込み、お問い合わせ
は宗務院庶務部までお願
いします。



WEB VERSION

WEB VERSION

平成31年 お七夜・報恩講

お七夜報恩講にお参りしましょう

宗祖親鸞聖人をお迎え
してのお七夜御正忌報恩
講が近づいてまいりまし
た。報恩講は親鸞聖人
九十年のご生涯ご遺徳を
偲びつつ仏徳讃嘆のお礼
を申し上げる法会です。

は阿弥陀如来のご本願を
身に受けられた親鸞聖人
が命の底から「弥陀の本
願信ずべし」と語りかけ
てくださいます。

阿弥陀如来のご本願
(親心) はお念仏、ナモ
アミダブツの言葉に成っ
てくださいました。言葉
と成ってその願いを私た
ちに知らせようと用いて
くださいます。

お念仏の出発点は如来
さまの親心です。
ナモアミダブツと親の
名を称えさせて頂くこと
が如来さまの願いに順う
ことになりまふ。

国宝となりました如来
堂ではご本尊、阿弥陀如
来が「我にまかせよ、か
ならず救う、ナモアミダ
ブツ」と生死の不安を抱
いている私たちに心配す
ることはない、大丈夫と
声なき声で喚び続けてい
らっしゃいます。

私の口に出てくださる
お念仏の中に、阿弥陀如
来のお徳(往生浄土・成
仏へのお約束)が全て宿

っている不思議な仏わざ
の言葉です。

ご本願(阿弥陀如来)
が選ぴとつてくださった
人間社会の言葉と全く次
元のちがう嘘のない真実
のお言葉がお念仏です。

仏さまが私のことを念
じてくださっているお言
葉です。

お念仏の中に阿弥陀如
来がいらっしゃると信じ
られる人は本当の信心の
人ですと先師は仰つてみ
えます。

「一人旅路はさせぬ親
さまナモアミダブツ」に
支えられ、救いようのな
い我が身が知らされお育
てを頂きます。

平成最後のお七夜報恩
講となります。皆さまの
ご参拝を心よりお待ちし
ております。 合掌

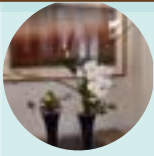
教学総務 眞置和徳



報恩講案内図・スケジュールは次頁をごらんください

WEB VERSION

WEB VERSION

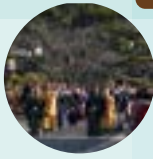
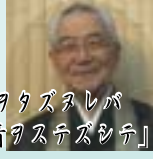
12日(土)	11日(金)	10日(木)	9日(水)
晨朝勤行②→① 説教①生桑崇等  「無慚無愧のとの身」	晨朝勤行②→① 説教①藤井徳雄  「第三の矢」	晨朝勤行②→① 説教①岡知道  「浅いと深い」	
前所〜副影堂) (休憩所)			
			高田学苑参詣① 
安楽庵見学⑨★ 日中勤行① 説教①戸田恵信  「火鉢にしみぬみ念仏の声」	安楽庵見学⑨★ 高田保育園参詣① 日中勤行① 説教①金森顕宏 	安楽庵見学⑨★ 高田短大参詣① 日中勤行① 説教①真置信海  「『恩徳讃』に聞く」	高田幼稚園参詣① 
お七夜婦人連合会① 大講堂説教⑥真置美徳  安楽庵見学⑨★ 宝物解説⑧	責任役員大会① 大講堂説教⑥安藤純海  「聖人からの贈りもの」	お七夜坊守会⑤ 大講堂説教⑥松田信慶  安楽庵見学⑨★ 宝物解説⑧ 「お念仏の醍醐味」	逮夜勤行① 説教①田中唯聴  安楽庵見学⑨★ 「私を生きる」
逮夜勤行① 説教①花山光瑞  「浄土は何処に 一思いを超えて」	逮夜勤行① 説教①浦井宗司  「煩惱は菩提」	逮夜勤行① 説教①隆妙艶 	
15:00 / 16日 10:00-12:00) 講堂 10:00-15:00)			
15日 10:00-15:00 / 16日 10:00-13:00) スタンプラリー受付(総合案内所)			
初夜勤行① 説教①里榮秀教  「念仏申す」	初夜勤行① 説教①鷲山了悟  「聖徳太子と御開山」	初夜勤行① 説教①中村宜成 	初夜勤行① 説教①佐藤弘道  「ねてもさめても」

平成三十一年

お七夜・報恩講のご案内

WEB VERSION

国宝一周年・平成最後のお七夜でお念仏をいたしましょう

	16日(水)	15日(火)	14日(祝)	13日(日)
7:00	晨朝勤行②→① 説教①長谷部行雄 「報恩講にあう」 	晨朝勤行②→① 説教①藤田正知 	晨朝勤行②→① 説教①水沼碧水 	晨朝勤行②→① 説教①安藤章仁 
8:00				「和讃に込められた二つのこころ」 献書展(御影堂) 生花展(如来堂)
9:00	御参廟④→③ 		特別講演②栗原妙直 新成人のつどい⑤ 安楽庵見学⑨★ 	特別講演②芳川賢史 「真実と出会うということ」 
10:00	安楽庵見学⑨★ 日中勤行① 説教①真昌智海 	安楽庵見学⑨★ 日中勤行① 御親教① 復演①栗原廣海 法主褒賞式① 	安楽庵見学⑨★ 日中勤行① 説教①梅林久高 高田派青年会⑤ 「ナミアミダブツからナレマールダブ」 	安楽庵見学⑨★ 日中勤行① 説教①田中明誠 
11:00				お七夜こども大会⑤
12:00	「如来ノ作願ヲタズヌレバ 苦悩ノ有情ヲステズシテ」 大講堂説教⑥安田真源 	「凡夫に開かれた仏道」 大講堂説教⑥藤山真哉 国宝御影堂特別拝観① 安楽庵見学⑨★ 宝物解説⑧ 	大講堂説教⑥藤澤真純 安楽庵見学⑨★ 宝物解説⑧ 	大講堂説教⑥島義厚 安楽庵見学⑨★ 宝物解説⑧ 
13:00				
14:00		逮夜勤行① 説教①廣田隆学 	逮夜勤行① 説教①高林亮英 	逮夜勤行① 説教①大河戸悟道 
15:00		「心も風邪をひく」	「聞(もん)」	「阿弥陀が如来する」
16:00	お非時(10-15日 10:00-15:00) 宗旦古流呈茶(有)			
16:30	宝物館特別展観(9日 12:30-15:00 / 10-15日 10:00-15:00) 真宗教団連合「報恩講巡り」			
17:00		初夜勤行① お七夜婦人連合会 初夜参詣① 説教①戸田信行 	初夜勤行① 説教①千草篤昭 	初夜勤行① 説教①松山智道 
18:00		「丹霞院傳(なんかしょうふ)」	「カナシキカナヤ道徳」	「摂取不捨」
19:00		ししこ念仏①		
20:00				
21:00		通夜念仏① 		
22:00				
23:00		後夜勤行①		

凡例	法会開始時間
①御影堂	晨朝
②如来堂	10～16日 7時より
③御廟	日中
④大玄関	10～16日 10時半より
⑤宗務院	逮夜
⑥大講堂	9日 12時半より・10～15日 14時より
⑦食堂	初夜
⑧宝物館	9～15日 16時半より
⑨安楽庵	後夜
⑩総合案内所	16日のみ 23時より

国宝御影堂特別拝観を15日12:30-13:30に行います
各行事は11月末日現在の予定です。変更される場合がありますのでご注意ください

※行事の詳細については当日山内で配布される報恩講のしおりをご参照ください

「王舎城の悲劇」

釈尊シリーズ ⑬

釈尊が摩伽陀国の首都「王舎城」近郊に滞在していた時にこの事件が起きました。

摩伽陀国は古代インドの大国の一つで、頻婆娑羅王という名君が統治し、国王夫婦は釈尊の教えに帰依し、佛教教団の有力な支援者でした。

釈尊のもとには多くの弟子達が尊い教えを聞くために集まっています。その中に提婆達多と申す者がおりました。彼は釈尊の従弟で知恵者です。しかし野心家で、いつか釈尊に代わり自分が佛教教団を統率したい、と企んでいました。

ある時、提婆は摩伽陀国の王子阿闍世に「国王

は将来王子に殺される、との占いの言葉を信じ、王子誕生の際、高い楼閣から産み落とし、王子を殺そうとしたのです。指の傷は殺そうとした証です。」と王子をそのかしました。提婆は王子を王に背かせ、王位の座を奪わせて、自らの協力者にしようと考えたのです。

出生にまつわる話を聞いた阿闍世は怒り、自らの父である国王を幽閉して食物も与えず殺そうとします。妃の韋提希夫人は嘆き悲しみ、国王にこっそりと食物を届けました。それを知った王子はついに母をもとらえ、深宮へ幽閉してしまいます。

幽閉された韋提希は釈尊に心を念じます。そして弟子の目連と阿難を遣し、地獄の底から一刻も早く救ってくださるようお願いします。すると、即座に釈尊自らが王宮の夫人の前に現れたのです。韋提希は釈尊に阿闍世や提婆に対する恨み、怒り、憎しみを延々と愚痴るのでした。しかし、釈尊は半眼の眼で黙って見つめておられるだけです。次第に韋提希は釈尊の大悲の眼差しの中で自らの行いに気づき、愚痴の心は懺悔に変わっていきます。いままでは釈尊の説法を聞くだけの韋提希でしたが、大悲のお姿を仰ぐとき、あの釈尊の説法は、まことの世界に帰れ、と私に呼びかけ続けてくださったのだ。黙



(教学院第三部会)

って自分を見つめておられる釈尊を拝みながら、かつて聞いたみ教えの一つ一つを自分の胸のうちに鎮くことが出来ました。すると釈尊は眉間の白毫から一条の光を放ち、その光のうちに十方諸佛の世界を現わし、韋提希にお見せします。

この韋提希の領きが、その十方諸佛の世界のなかから、阿弥陀佛の身元に生れたい、と願わしめることとなったのです。

WEB VERSION

WEB VERSION



幼稚園に勤めておりますが、5歳児から「せんせい、いのちってなんでしんじやうの?」と聞かれたときにはドキッとしました。いつも園児に「いのちはとてもたいせつなものです」と伝えていますが、いざいのちについての「なぜ?」を問いかけると言葉に詰まってしまいます。普段、いかに分からないことを難しい言葉でごまかして、分かったような顔をしているのか、そういう私自身の現実を突き付けられたようで恥ずかしくなりました。

ある研修会にて、動物園でお仕事をされていた方の講演を聞く機会があり、質疑応答の時間に思い切った質問をしました。「いのちのことを小さい子どもに伝えるとき、どんな言葉

を使ったら良いのか」とすると、講演中は穏やかに話されていた講師先生の口調が少し厳しくなり、次のように答えられたのです。「いのちのことを伝えたいなら、例えば幼稚園や家庭で、動物や虫を飼えばいい。あなたは言葉で伝える

リレー法話「いのち」

ただただ、

子どもたちと

一緒に

二十七組 浄徳寺副住職

佐藤弘道

と言ったが、いのちは理屈で説明できるものですか? あなたは何が勘違いしているらしいが、あるいはわざわざ難しく考えているようにだが、いのちのことは、いのちとの触れ合い(出会い)を通してでしか伝わらないですよ」

それまで、ののさま(阿弥陀さま)や親鸞さまのこと、お念仏のこと、そしていのちのこと…小さい頃からきちんと伝えていききたい、卒園までにはきちんと手を合わせて「なもあみだぶつ」とお念仏できる子に育ててほしい、それが高田派仏教幼稚園としての使命だと肩に力が入っていた私ですが、今はただただ、子どもたちと一緒に御堂でお参りをし、一緒にお念仏をして、一緒に自然に触れ、一緒に喜び、一緒に悲しみ、一緒に考え、一緒に悩み、一緒に驚き、一緒に生活をしています。

ご本山の境内で一緒に過ごす日々の中で、子どもたちとともにゆつくりと、いのちについて学んでいけたらと思っています。

WEB VERSION

WEB VERSION

親鸞聖人ご旧跡を訪ねて

第10回 越前七不思議

親鸞聖人にまつわる伝承として越後七不思議が有名ですが、同じような伝承が福井県内にも残されています。

そのうちのいくつかを訪ねることができました。

これらは、福井新聞社発行の『親鸞なう』によると、三度栗・石団子の地・のこぎり坂・八房の梅・八丁岩・片葉の葦・黄楊の堂を七不思議として紹介されています。

聖人が民家で施された焼き栗を地に埋めたら年に三度実をむすんだ話や食べた梅干しの種から八粒の実をつける梅が育った話、聖人に施すのを断

ったお団子が石のように硬くなり食べられなくなってしまう話、施された菓みに添えられた黄楊の楊枝が成長した話などは、聖人が休んだところで特定の植物が成長したという話です。

史実かどうかは別にして、こんなに多くの聖人

が慕われたあとが残っていることに感動をおぼえます。

今回訪ねた、三度栗は鯖江市舟枝町に、黄楊の堂は坂井市丸岡町、石団子の地は坂井市下関、のこぎり坂はあわら市細呂木にあります。

(山川蓮生)

●行事案内

十二月八日～十日

中興上人御正当

一月一日～三日

修正会

一月九日～十六日

報恩講(お七夜)

二月一日

年賀式

三月十八日～二十四日

讃仏会



黄楊の堂 三度栗
石団子の地 のこぎり坂

本寺・関東別院だより

関東別院



本寺専修寺



11月15～16日、関東別院協力のもと報恩講を厳修致しました。

11月17日、二十五世法主殿をお迎えして報恩講を厳修致しました。

寺院名

高田本山
Senjuji

三重県津市一身田町
2819
真宗高田派本山専修寺

WEB VERSION